

「働く」を通して一步踏み出しやすいまちへ

問 福祉課 ☎56-0614 / 長久手市障がい者相談支援センター ☎64-2333

「体調に波がある」「ブランクが長い」「人間関係に不安がある」など、さまざまな理由から、働きたい気持ちはあっても一步踏み出せない人がいます。本市でも、そのような悩みを持つ働きづらさを抱える人は約500人程度いると推計されています。

そこで、本市では地域の事業者のみなさんと協働し、1日1時間、週1回程度から始められる「短時間就労」の取組を開始しました。

働くことは、収入を得るだけでなく、社会との関わりや自信の回復にもつながります。「働く」一步を踏み出してみませんか。



企業・事業者のみなさんへ

身近な場所で働き、活躍できる持続可能な地域を、ともに作りませんか。市や福祉の専門職が伴走し、業務の切り出しや調整、就労後のフォローを行います。本事業の趣旨にご理解・ご協力いただける事業者のみなさんを募集します。

5月は孤独・孤立対策強化月間です

本事業は、社会とのつながりを支える取組の一つです。孤独・孤立を感じても助けを求める声を上げやすく、また声をかけやすいまちづくりを一緒に進めていきましょう。



ヒカリノ

孤独・孤立に悩む人の多様性に配慮し、特定の属性を想起させない「ゆるやかなつながり」を象徴するキャラクター

香流苑跡地の土地活用決定

問 企画政策課
☎56-0600



1975年から本市と尾張旭市で共同運営してきた「し尿処理施設」香流苑は、下水道の普及に伴いその役割を終えました。施設跡地の利用については、当初の敷地全体を売却としていた方針を見直し、2023年7月から市民のみなさんと8回(地区別開催を含め延べ12回)にわたり意見交換を進めてきました。広報ながくてや市HP等で随時進捗状況をお知らせしてきましたが、この度、土地利用について次のとおり決定しました。詳細は市HPへ。

西側 敷地の約7割(約10,000㎡)を財源回収のため売却します

尾張旭市からの土地持分購入や建物解体などの多額の費用の精算を進めるため、本市の基金を取り崩して負担してきました。この財源回収のため、2025年11月から公募型プロポーザルにより土地の売却手続を実施した結果、1者から参加申込があり、売却先が決定しました。引き続き、基金を有効に活用し市民サービスの向上に努めていきます。

- 売却先……………(株)長谷工コーポレーション
- 売却額……………12億円(提案下限価格11億7,465万円)
- 土地活用方法…マンション2棟(256戸)



イメージ図

東側 敷地の約3割(約4,300㎡)を市有地として残し、憩いの場となる緑地を整備します

整備方針等を決定するため、2026年度中に市民のみなさんとワークショップを開催します。

北側 歩行者の安全な通行のため、歩道付きの9m道路を整備します

2026年度中に整備完了の予定です。